

英和テキスト、英和はや読みについて補足説明

<★の数について>

★が中1（英検5級）、★★が中2（英検4級）、★★★が中3（英検3級）
★★★★が高1（仮定法の1つだけです）。多くは、★が1つか2つです。

<英和テキストか、英和はや読みテキストか？>

英文に単語数の数字がないのが英和テキストで、見た目はすっきりしています。私は数字入りの英和はや読みテキストを教室では採用し、はや読み練習の習慣を生徒につけてもらっています。

<クリアファイルの整理案>

ご参考までにうちの教室での「英単語でポン＋センテンス会話編」の整理方法をお伝えします。クリアファイルに一枚ずつ入れます。

- ・ P1（見開きの右） イラスト単語 （有料ダウンロード・曲ごと）
- ・ P2（めくって次の左） はや読み単語 （無料ダウンロード・スペルのみ）
- ・ P3-6（続く4ページ） A・B・C・会話の4ページ（はや読み英和を2in1印刷）

イラスト単語を右頁にして、めくって次の左頁にスペリングのみの単語シートにしているのは、読みチェックのときに、イラストがチラ見しにくいように、という意味です。続く3-6ページが今回の英和の対訳です。一曲が6ページ、25曲で全150ページ。ポケット数は75必要ですので標準的なクリアフォルダー40ポケットが、2冊必要です。

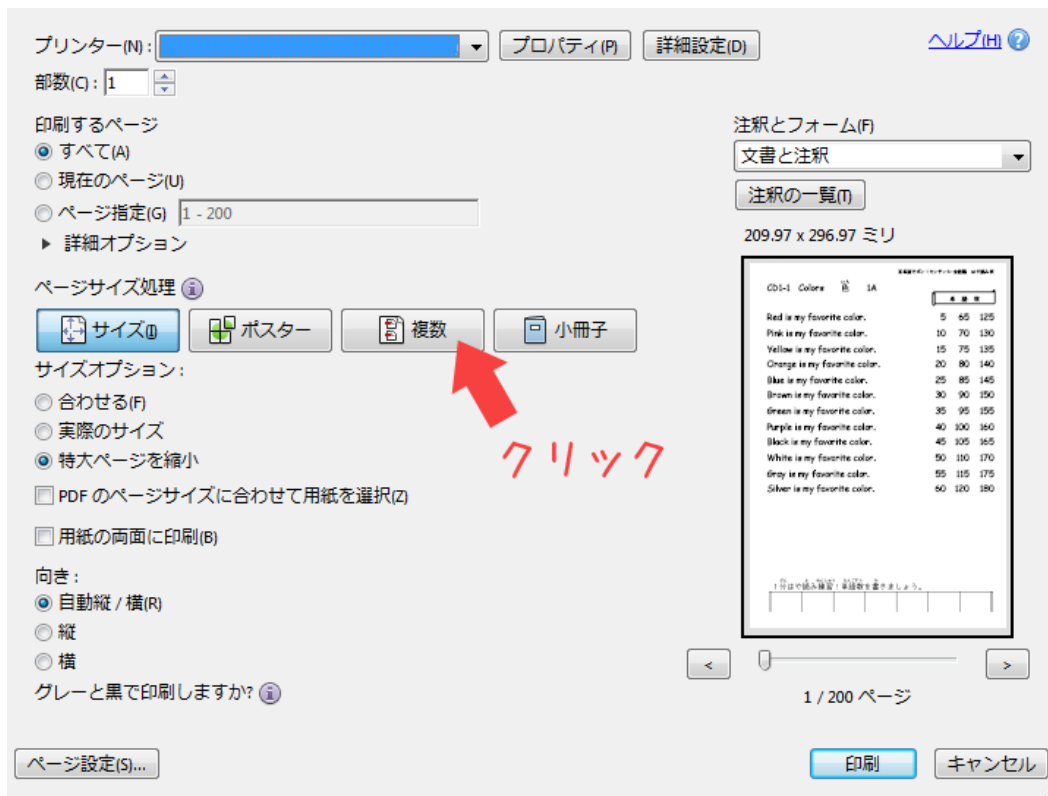
<印刷方法のヒント>

そのまま印刷すると全200ページになります。A4の場合、十分に大きい字になって見やすいですが、反面ページ数が多すぎて持ち運びなどがしにくいと感じられるかもしれません。

うちの教室では、A4サイズのコピー用紙1枚に、2ページを収める印刷の方法にしました。つまり全部で100ページです。それを上記の要領でファイルに入れてもらっています。（上記参照）

2 in 1などの呼称で、プリンター側で設定する方法もありますが、PDFで印刷設定する方法を次のページでお知らせします。（Adobe Reader Xでの例）

① 印刷画面で「複数」のボタンをクリックする。



② 「1枚あたりのページ数」を2に、「ページの順序」を横に、「向き」を縦に設定し印刷する。

